

## 1 はじめに

本校は小規模校の特長を生かし、異学年による縦の繋がりを大切にした縦割り班活動に積極的に取り組んでいる。また、高学年による委員会活動では、計画・運動委員会を中心に学校行事の運営を行っている。

## 2 資料

### (1) 握力強調週間

今年度の体力テストの結果から、握力の記録が全学年低いことに課題を感じ、計画・運動委員会で改善案を考えた。児童から出た「握力強調週間」のアイデアを実践し、昇降口前に握力計を設置し、握力を測る機会を増やしたことで、全校児童で握力向上についての意識を高めることができた。



本校では、委員会活動を第4学年・第5学年・第6学年の3学年合同で行っているため、各学年から、本校の良さ（縦割り班活動）を生かすアイデアを出し合うことにより、自発的に活動することができた。

### (2) 「あいさつ運動」(年19回実施：計画運動委員会1回、縦割り班18回)

児童が自分から進んであいさつができるようになるために、あいさつ運動を企画し、実施した。他学年同士あいさつをしたり、されたりすることで、互いに顔を覚え、元気にあいさつする様子が見られた。また、今年度も、縦割り班での活動とすることで、学年の壁を越えてあいさつが広がる仕組みとした。



### (3) その他の活動

#### ア 縦割り班遠足（かみね動物園）



#### イ 運動会（縦割り班リレー）



## 3 成果と課題

- ・計画・運動委員会の児童は、学校全体に関わる行事の企画・運営などを行うことで、活動への意欲を高めるとともに責任感を身に付けた。学校全体の課題に対し、どのように改善することができるかということを中心に話し合うことができた。
- ・活動時間の確保において、常設されている委員会活動の時間のみでは足りないことがあり、休み時間を使うことが多かった。計画を見直しながら、改善できるようにしたい。
- ・来年度も、児童たちがさらに、自主的に考え、活動していけるような手立てと支援を考えていきたい。